

## IV 家内労働者の労働条件の現状（平成29年10月調査）

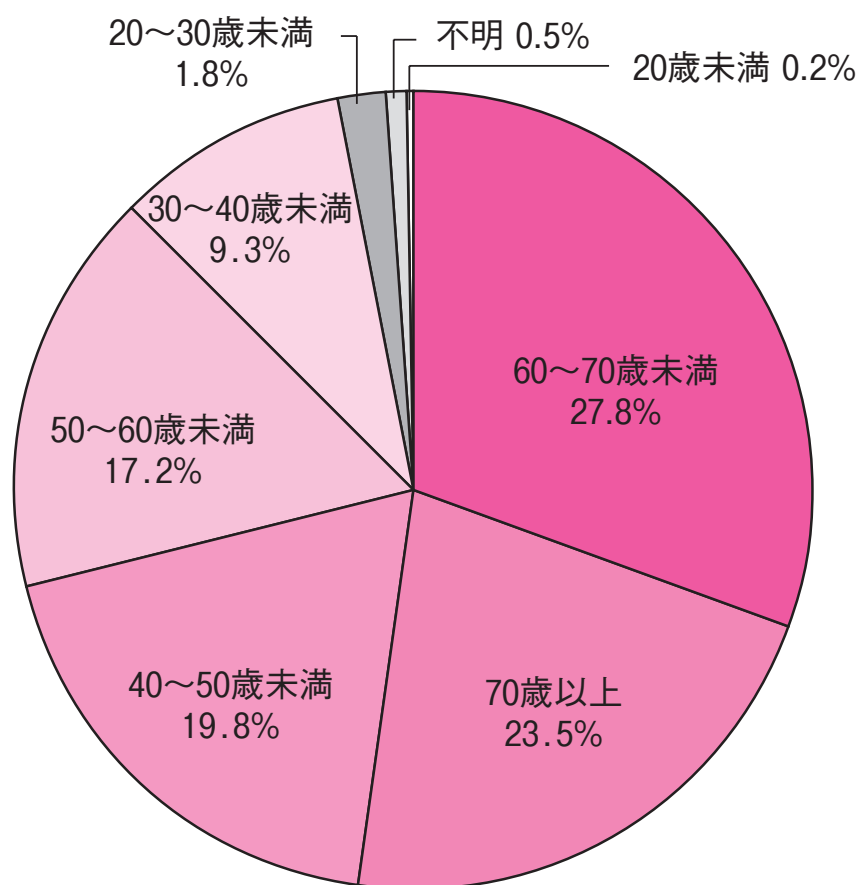
### 1 平均年齢は57.9歳、平均経験年数は10.8年

家内労働者の平均年齢は57.9歳で、これを男女別にみると、男性が65.4歳、女性が57.1歳となっています。

年齢階級別に家内労働者の構成比をみると、第1図のとおり、「60～70歳未満」が最も多く27.8%、次いで「70歳以上」が23.5%、「40～50歳未満」が19.8%と、これら3つの階級で全体の約7割を占めています。

また、家内労働者が現在の業務に従事してきた平均経験年数は10.8年であり、これを男女別にみると、男性は15.0年、女性は10.3年となっています。

第1図 年齢階級別家内労働者構成比



## 2 平均就業時間数は1日5.0時間、平均就業日数は1か月18.3日

家内労働者の平均就業時間数は、1日5.0時間であり、平均就業日数は、1か月18.3日となっています。

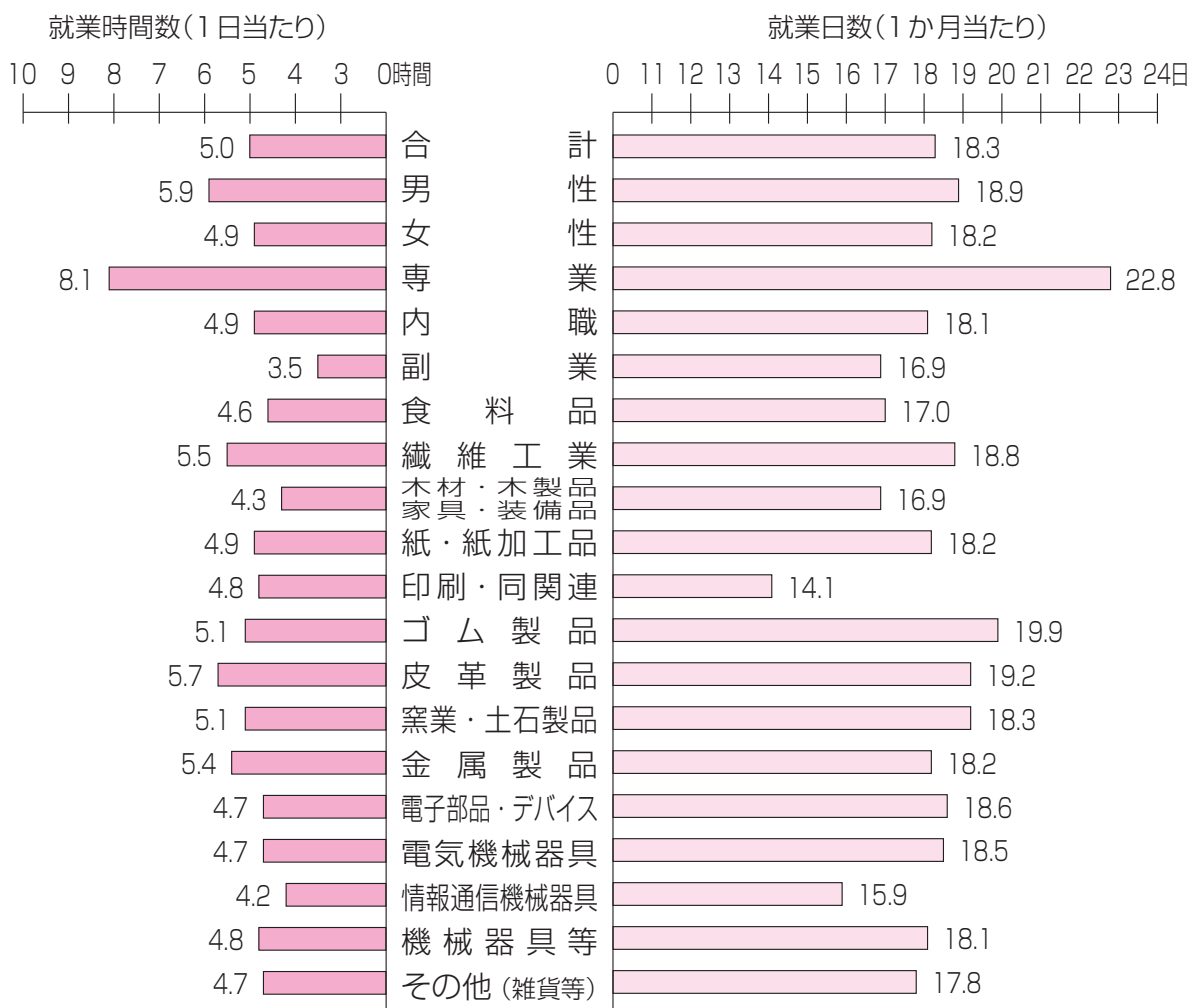
これを男女別にみると、男性の就業時間数は、1日5.9時間、就業日数は1か月18.9日であるのに対し、女性の就業時間数は1日4.9時間、就業日数は1か月18.2日となっています。

また、これを類型別にみると、専業は1日8.1時間、就業日数は1か月22.8日であるのに対し、内職は1日4.9時間、就業日数は1か月18.1日、副業は1日3.5時間、就業日数は1か月16.9日と、いずれも短くなっています。

次に、業種別に平均就業時間数をみると、「皮革製品」が5.7時間と、専業的家内労働者が比較的多い業種において長く、これに対して、「情報通信機械器具」が4.2時間と最も短くなっています。

また、平均就業日数をみると、「ゴム製品」が19.9日、「皮革製品」が19.2日、「繊維工業」が18.8日と多く、これに対し、「印刷・同関連」が14.1日と最も少なくなっています。(第2図)

第2図 男女別、類型別、業種別1日当たりの平均就業時間数および1か月当たりの平均就業日数



### 3 平均工賃額は1時間516円、1か月4万1,961円

家内労働者の1時間当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は516円で、これを男女別にみると、男性が694円、女性が496円となっています。

これを類型別にみると、専業が817円、内職が491円、副業が789円となっています。

また、これを業種別にみると「印刷・同関連」が692円と最も高く、次いで「皮革製品」が672円、「金属製品」が664円となっているのに対し、「紙・紙加工品」は380円と最も低く、次いで「ゴム製品」が448円、「食料品」が491円となっています。

次に、1か月当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は4万1,961円で、これを男女別にみると、男性が8万4,285円、女性が3万7,089円となっています。

これを類型別にみると、専業が15万441円、内職が3万7,278円、副業が2万9,058円となっています。

また、これを業種別にみると、「皮革製品」が8万5,622円と最も高く、次いで、「金属製品」が6万8,849円、「窯業・土石製品」が6万2,145円となっているのに対し、「紙・紙加工品」は2万6,087円と最も低く、次いで「情報通信機械器具」が2万7,593円、「食料品」が3万176円となっています。

### 第3図 男女別、類型別、業種別1時間および1か月当たりの工賃額

